

重点目標を達成するための今年度の取り組みと評価基準・評価結果(年間)

A 重点	C短期経営目標 (年度末までにどのような状態にするか)	具体的な方策	具体的な取り組み		成果		自己評価				学校関係者による評価				
			評語	取組に関する指標 (可能な限り数値で)	評語	成果指標(可能な限り数値で)	取組指標		成果指標		考察(コメント)	改善策	評語	主な意見	
							中間	年間	中間	年間					
1 学力の向上	年間3回校内に授業を公開し、教員一人一人が専門性を持ち、自らの実践を他の教員に発信していく。	管理職の授業観察の際に指導略案を作成し、全教員に授業を公開する。また、自ら工夫した授業を全校に声をかける形で公開する。	A 教職員のアンケートでA, B評定80%以上	A 授業に関する保護者のアンケートでA, B評定80%以上	A	A	B	B	すべての学級担任が年間3回の指導略案を作成した公開授業を行うことができた。しかし、お互いの授業を見合せて高め合う取り組みとしては不十分であった。	来年度も引き続き授業公開を積極的に行う。低学年担当教員が多く学べるよう、5、6時間目の授業公開を増やしていく。	B	・クラス全員が集中できるような楽しい授業が行われるといい。 ・学力向上に対して指導法の工夫をし、楽しく授業が受けられれば向上につながる。			
			B 教職員のアンケートでA, B評定70%以上	B 授業に関する保護者のアンケートでA, B評定70%以上	B	A	B	B	年間を通して教員が話し合いを意識した授業を展開することで児童が話し合いに抵抗がなくなったという成果が認められた。しかし、高め合いまでには至らず課題が残った。	国語科と特別活動において学んだ話し合いの手法を発達段階に応じたスタンダードを作成し、中学3年間も合わせた9年間を見通したコミュニケーション能力の育成を図っていく。	B	・児童の授業中の立ち歩き、教室飛び出しのある学年があり、気になった。 ・一つの課題について長期に学習していくことは、今後も多く取り入れて続けてほしい。			
			C 教職員のアンケートでA, B評定60%以上	C 授業に関する保護者のアンケートでA, B評定60%以上	C	A	B	B	年度途中で算数担当教員が病休となり、少人数指導ができなくなる学年も生じてしまったが、少人数担当講師や学力支援員の活用により、一定の成果を上げることができた。	東京都の開発したベータシンドリルの活用による学力の底上げを徹底して行う必要がある。次年度より計画的に行っていく。	B	・音楽を好きになる授業作りを是非やってほしい。 ・学校公開を毎月にしたことにより、成果が上がってくると考えられる。			
			D 教職員のアンケートでA, B評定60%未満	D 授業に関する保護者のアンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	B	道徳教育に関する保護者アンケートでA, Bが80%以上	道徳授業に関しては教員の意識と授業力は良い評価ができるものではない。授業を積極的に公開して力をつける必要がある。	取り組みとしてはまだまだだが、本年度は2回目の授業観察時に全員道徳の授業に取り組み、また、授業公開に於いても道徳授業を行うことで前期よりも成果が上がったと考える。	B	・道徳の授業は内容が児童によく分かっているか疑問。 ・イスラム国の問題を取り上げている学級があり、ニュースにはなったが、心を育てるのは大変だと感じた。 ・行事で付けた力を次につなげていくことを課題としたい。		
	校内研究の授業研究を通して、年度末に具体的な児童の変容の報告ができる。	年間4回の校内研究授業を講師の指導の下、完全実施し、分科会ごとに設定した目指す児童像に迫る児童の変容を確実に捉える。	A 教職員のアンケートでA, B評定80%以上	A 授業に関する児童のアンケートでA, B評定80%以上	A	A	B	B	生活指導部が中心となり、授業規律、生活規律を整え、全学級、全教室で統一した指導ができる環境を整える。	本年度の取り組みをきっかりと、来年度は重点的に全校上げて指導を徹底することで児童の規範意識を飛躍的に上げていく。	B	・6年生を最高学年として盛り上げていく取組は、6年生の自覚となり、また、他学年の6年生を見る目の変化、そして、いずれ自分達も最高学年になるという想像、思考力の発達をも育てることになる。			
			B 教職員のアンケートでA, B評定70%以上	B 授業に関する児童のアンケートでA, B評定70%以上	B	A	B	C	学校全体で6学年児童を盛り上げていくことで6学年児童が力を付け、学校行事を通して、下級生に良い影響を与えることができた。	取り組みは順調である。引き続き、高学年児童を学校全体で盛り上げることで、学校全体のレベルアップを図ってきたい。	A	・年を重ねていくことに、児童の変化を注視していければよい。			
			C 教職員のアンケートでA, B評定60%以上	C 授業に関する児童のアンケートでA, B評定60%以上	C	A	B	C	全教員が生活指導部を中心として児童の規範意識の向上のため細かく意思統一をとり組むことができた。徐々に児童の意識は変わったが、全体としての成果は今後の課題である。	次年度はすべての教科で話し合い活動の充実を意識して授業展開を工夫していく。校内研究や授業観察での指導の視点として常に取り上げていく。	B	・児童の活躍できる場を増やして、お互いのいいところを認め合えるように、もつとなるといい。 ・朝のあいさつ、帰りのあいさつは大切なので、学校全体で声かけをしてほしい。			
			D 教職員のアンケートでA, B評定60%未満	D 授業に関する児童のアンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	C	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定80%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定70%以上	A	A	A	A	・ひき続き「あいさつ」を大切に取組んでほしい。 ・児童へのアンケート、教員の取組に対する自己評価そして保護者アンケートで評価していく。項目やアンケートの取り方は難しいものだったと思った。
	算数科において少人数・TT指導を充実させ、発達段階に応じた基礎・基本の定着を図る。	算数科授業において習熟度に応じた個別支援を行い、学力の底上げを行う。	A 教職員のアンケートでA, B評定80%以上	A 授業に関する児童のアンケートでA, B評定80%以上	A	A	B	B	学年で道徳授業について研修会を持ち、授業の教材を整え、授業力の向上を図る。	学校行事において6学年児童を活躍させ、6学年児童の満足度と下学年の認知度を高める。	A	A	A	A	・年を重ねていくことに、児童の変化を注視していければよい。
			B 教職員のアンケートでA, B評定70%以上	B 授業に関する児童のアンケートでA, B評定70%以上	B	A	B	C	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	・児童の活躍できる場を増やして、お互いのいいところを認め合えるように、もつとなるといい。 ・朝のあいさつ、帰りのあいさつは大切なので、学校全体で声かけをしてほしい。
			C 教職員のアンケートでA, B評定60%以上	C 授業に関する児童のアンケートでA, B評定60%以上	C	A	B	C	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	・児童へのアンケート、教員の取組に対する自己評価そして保護者アンケートで評価していく。項目やアンケートの取り方は難しいものだったと思った。
			D 教職員のアンケートでA, B評定60%未満	D 授業に関する児童のアンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	C	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	・児童へのアンケート、教員の取組に対する自己評価そして保護者アンケートで評価していく。項目やアンケートの取り方は難しいものだったと思った。
学年で道徳授業における板書カードや掲示資料ができる限り蓄積し、共有できる環境を整え、道徳授業の充実を図る。	統一した授業規律、生活規律を整え、全学級、全教室で統一した指導を定期的確認する。	A 教職員のアンケートでA, B評定80%以上	A 規範意識に関する保護者アンケートでA, Bが80%以上	A	A	B	C	学校行事を通して、下級生に良い影響を与えることができた。	学校行事を通して、下級生に良い影響を与えることができた。	A	A	A	A	・年を重ねていくことに、児童の変化を注視していければよい。	
		B 教職員のアンケートでA, B評定70%以上	B 規範意識に関する保護者アンケートでA, Bが70%以上	B	A	B	C	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	・児童の活躍できる場を増やして、お互いのいいところを認め合えるように、もつとなるといい。 ・朝のあいさつ、帰りのあいさつは大切なので、学校全体で声かけをしてほしい。	
		C 教職員のアンケートでA, B評定60%以上	C 規範意識に関する保護者アンケートでA, Bが60%以上	C	A	B	C	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	・児童へのアンケート、教員の取組に対する自己評価そして保護者アンケートで評価していく。項目やアンケートの取り方は難しいものだったと思った。	
		D 教職員のアンケートでA, B評定60%未満	D 規範意識に関する保護者アンケートでA, Bが60%未満	D	A	B	C	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	・児童へのアンケート、教員の取組に対する自己評価そして保護者アンケートで評価していく。項目やアンケートの取り方は難しいものだったと思った。	
学校全体で最高学年である6年生を盛り立て、誇りと自覚を持って卒業していける環境を整える。	学校行事において6学年児童を活躍させ、6学年児童の満足度と下学年の認知度を高める。	A 教職員のアンケートでA, B評定80%以上	A 話し合いに関する児童アンケートでA, B評定80%以上	A	D	C	C	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	・児童の活躍できる場を増やして、お互いのいいところを認め合えるように、もつとなるといい。 ・朝のあいさつ、帰りのあいさつは大切なので、学校全体で声かけをしてほしい。	
		B 教職員のアンケートでA, B評定70%以上	B 話し合いに関する児童アンケートでA, B評定70%以上	B	A	B	C	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	・児童へのアンケート、教員の取組に対する自己評価そして保護者アンケートで評価していく。項目やアンケートの取り方は難しいものだったと思った。	
		C 教職員のアンケートでA, B評定60%以上	C 話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	C	A	B	C	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	・児童へのアンケート、教員の取組に対する自己評価そして保護者アンケートで評価していく。項目やアンケートの取り方は難しいものだったと思った。	
		D 教職員のアンケートでA, B評定60%未満	D 話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	C	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	・児童へのアンケート、教員の取組に対する自己評価そして保護者アンケートで評価していく。項目やアンケートの取り方は難しいものだったと思った。	
ファンリテーションの手法を学び、どの学級、どの授業においても活発な話し合い活動が行える下地を整える。	国語科、特別活動(学級活動)での授業実践をもとに各教科の授業での話し合い活動の充実を図る。	A 教職員のアンケートでA, B評定80%以上	A 話し合いに関する児童アンケートでA, B評定80%以上	A	D	C	C	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	・児童の活躍できる場を増やして、お互いのいいところを認め合えるように、もつとなるといい。 ・朝のあいさつ、帰りのあいさつは大切なので、学校全体で声かけをしてほしい。	
		B 教職員のアンケートでA, B評定70%以上	B 話し合いに関する児童アンケートでA, B評定70%以上	B	A	B	C	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	・児童へのアンケート、教員の取組に対する自己評価そして保護者アンケートで評価していく。項目やアンケートの取り方は難しいものだったと思った。	
		C 教職員のアンケートでA, B評定60%以上	C 話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	C	A	B	C	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	・児童へのアンケート、教員の取組に対する自己評価そして保護者アンケートで評価していく。項目やアンケートの取り方は難しいものだったと思った。	
		D 教職員のアンケートでA, B評定60%未満	D 話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	C	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	・児童へのアンケート、教員の取組に対する自己評価そして保護者アンケートで評価していく。項目やアンケートの取り方は難しいものだったと思った。	
学級の枠を超えた活動を行い、児童一人一人の活躍の場を設定し、児童相互の認め合いができる環境を整える。	児童集会や学年活動、運動会や学芸会などの全体の場で児童一人一人の活躍の場を設定し、児童の認め合いができるようにする。	A 教職員のアンケートでA, B評定80%以上	A 認め合いに関する児童アンケートでA, B評定80%以上	A	A	B	A	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	・児童へのアンケート、教員の取組に対する自己評価そして保護者アンケートで評価していく。項目やアンケートの取り方は難しいものだったと思った。	
		B 教職員のアンケートでA, B評定70%以上	B 認め合いに関する児童アンケートでA, B評定70%以上	B	A	B	A	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	・児童へのアンケート、教員の取組に対する自己評価そして保護者アンケートで評価していく。項目やアンケートの取り方は難しいものだったと思った。	
		C 教職員のアンケートでA, B評定60%以上	C 認め合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	C	A	B	A	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	・児童へのアンケート、教員の取組に対する自己評価そして保護者アンケートで評価していく。項目やアンケートの取り方は難しいものだったと思った。	
		D 教職員のアンケートでA, B評定60%未満	D 認め合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	・児童へのアンケート、教員の取組に対する自己評価そして保護者アンケートで評価していく。項目やアンケートの取り方は難しいものだったと思った。	
大人(教職員)が積極的に日常的に明るく笑顔で挨拶を行うことで、児童の人間関係作りをサポートし、学校内外で積極的に地域に関わる児童を育てる。	学級、教室に親和的な環境を整えることができていく。	A 教職員のアンケートでA, B評定80%以上	A 挨拶に関する児童アンケートでA, B評定80%以上	A	A	B	A	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	・児童へのアンケート、教員の取組に対する自己評価そして保護者アンケートで評価していく。項目やアンケートの取り方は難しいものだったと思った。	
		B 教職員のアンケートでA, B評定70%以上	B 挨拶に関する児童アンケートでA, B評定70%以上	B	A	B	A	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	・児童へのアンケート、教員の取組に対する自己評価そして保護者アンケートで評価していく。項目やアンケートの取り方は難しいものだったと思った。	
		C 教職員のアンケートでA, B評定60%以上	C 挨拶に関する児童アンケートでA, B評定60%以上	C	A	B	A	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	・児童へのアンケート、教員の取組に対する自己評価そして保護者アンケートで評価していく。項目やアンケートの取り方は難しいものだったと思った。	
		D 教職員のアンケートでA, B評定60%未満	D 挨拶に関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%以上	話し合いに関する児童アンケートでA, B評定60%未満	D	A	B	A	・児童へのアンケート、教員の取組に対する自己評価そして保護者アンケートで評価していく。項目やアンケートの取り方は難しいものだったと思った。	

* 学校関係者による評価の評語は、自己評価結果について以下の観点で行う。

A 自己評価は適切である B 自己評価は概ね妥当であるが根拠資料が不足している C 自己評価と実態との差が大きい D 自己評価方法を見直す必要がある